

## 公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

### 1. 基本情報

#### (1)管理施設

施設名	藤の台学童保育クラブ		
施設概要	【所在地】 町田市本町田3350(本町田東小学校敷地内) 【開設年月】 1971年 【開所日時】 月曜日～土曜日/8時～19時 【建物面積】 延床面積105.3㎡ 【建物構造】 軽量鉄骨造 平屋建て 【児童数】 57名(2024年4月1日時点)		
設置目的	小学校に就学している児童で家庭において、保護者の適切な保護を受けられない者に対して組織的に指導を行い、もって学童の事故防止と心身の健全な育成を図るため		
設置根拠法令・条例	児童福祉法、町田市学童保育クラブ設置条例		
所管部課	子ども生活部児童青少年課	問合せ先	042-724-2182
施設ホームページURL	https://www.machida-syakyō.or.jp/jigyo/j3-shokai.html		

#### (2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 町田市社会福祉協議会	法人番号	2012305000201
指定管理者所在地	町田市原町田4-9-8		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)クラブに入会した学童の保育に関する業務・・・余暇・生活・学習・安全指導、おやつ提供等 (2)クラブに入会した学童の特別保育に関する業務・・・特別保育の利用承認、賦課及び徴収等 (3)管理施設及び設備の維持管理に関する業務・・・施設の保守・管理、修繕等 (4)前各号に規定したもののほか、市長が指定した業務・・・市への報告業務、利用者アンケートの実施等		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 併用 <input type="checkbox"/> 非該当	選考方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募

### 2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
様々な体験活動を行う	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアによるユニカール体験やむかし遊び、桜美林大学の学生による表現ワークショップの実施、高齢者施設へのプレゼントや訪問、FC町田ゼルビアのサッカー教室、3R講座、読み聞かせ等、様々な経験ができる機会を設けた。また、クリスマス会等のイベントを実行委員を募って、児童が計画・進行するなど、子どものやりたい気持ちを大切にした。</li> <li>全て廃材を用いた工作を用意し「リサイクル工作デイ」を設け、SDGsの意識を高めるきっかけになった。</li> </ul>
職員の質の向上を図る	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修へは積極的に参加し知識を深めるとともに、参加できなかった職員とも共有する機会を設け、全職員の質の向上に繋げた。</li> <li>全職員を対象に施設長と面談を実施し、それぞれの課題を抽出したり、良いところを認め合うことで、個々の意識を高めた。</li> <li>職場研修計画に基づき、法人独自の研修に力を入れた。</li> <li>人事考課制度を導入し人材育成の強化を図り、職員の育成に繋げた。</li> <li>階層別研修を法人内で実施し、職員のスキルアップを図った。</li> <li>子どもの権利擁護や食物アレルギー等について、時間を設けて学ぶ機会を作った。</li> </ul>
安全管理に努める	毎年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日が暮れクラブから校門までの道のりが暗くなる時期は職員が児童に付添い送りだしたり、昇降口のドアを閉める等の防犯対策を講じた。</li> <li>各種避難訓練については、様々な状況を想定して実施した。</li> <li>まちともと合同で避難訓練を実施し、放課後の安全対策の共通認識を図った。</li> <li>校庭等の点検時に危険箇所を発見した場合は、直ちに学校と共有し改善を図った。</li> <li>食物アレルギーに関して、エビペンの使用練習をトレーナーを用いて実施し、安全管理に努めた。</li> </ul>

## 【評価対象年度 2024年度】

### 3. 昨年度の課題

内容	特になし
----	------

### 4. 総合評価及び所見

総合評価	<b>A</b>	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	<p>利用者満足度調査について、全体満足度は100%、サービス・施設管理面はA評価の基準を超える99.4%の満足度を得られていることから、高いサービスを提供していると判断できる。保護者参加行事や保護者会といった保育の様子を知ってもらうための取り組みを積極的に行ったことが、高い満足度につながった要因のひとつであると考えられる。</p> <p>利用者満足度調査回収率は90%を超えており、利用者意見の聴収に対する取り組み成果がうかがえる。研修の平均受講回数はA評価の基準を超える14.3回であり、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。</p> <p>業務履行状況・財務状況は全項目「適」と要求水準を満たす運営を行っていた。</p> <p>以上のことから、総合評価を「A」とした。</p>	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が「行きたい」と思える環境づくりと「やりたい」ことを実行する機会が持てるよう、職員間で話し合いを重ねクリスマス会・おわかれ会を実施した。ここでは実行委員を募り、児童が企画や進行を進めた。実行委員になった児童は意欲的に活動し、その他の児童も自分にできそうなことではないかと考え主体的に参加する様子が見られた。</li> <li>・保育の様子を少しでも知っていただくため、保護者参加行事や保護者会、保育参観を実施したり、ICTシステムを活用し日頃の様子をこまめに配信した。年度末には一年間の様子を写真で振り返ることができるよう冊子を配布し好評を得た。保護者参観日は学校の保護者会の日程にあわせたことで、昨年度よりも参観者が増加した。</li> <li>・学校とは日常的に連携を取り、児童の育成支援につなげることができた。満足度調査の学校との連携については、やや不満の声が1件あったため、連携の図り方に検討の余地は残った。</li> <li>・まちもとの事業連携を図り「合同避難訓練」や「合同レクリエーション」を実施した。</li> <li>・学校の統廃合に伴う学童保育クラブの統合に向け、本町田クラブ、藤の台ポケットクラブ、竹ん子クラブ、七国山クラブそれぞれの支援員と引継ぎを行っていることを保護者に伝え安心に繋がった。</li> </ul>	

## 【評価対象年度 2024年度】

### 5. サービスの質に関する評価

#### 【利用者アンケート調査】

調査概要	<b>【調査期間】</b> 2024年12月2日～12月28日(27日間) <b>【登録児童数】</b> 44名(調査月1日時点) <b>【配布枚数】</b> 37枚 <b>【回答数】</b> 35枚 <b>【回収率】</b> 94.6% <b>【調査方法】</b> (配布方法)配信 (回収方法)配信の回答
------	--

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (全体満足度)	(全体満足度の項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	96%	100.0%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	96	96	96
実績値	100.0	97.5	95.7	100.0	100

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度 (サービス・施設管理面)	(サービス、施設管理面等の9項目において、満足・やや満足とつけた保護者割合の平均) A: 95%以上 B: 75%以上～95%未満 C: 75%未満	96%	99.4%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	95	95	96	96	96
実績値	94.8	94.7	93.1	99.7	99.4

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
研修参加回数	(常勤職員の市及びその他関係機関主催研修会回数の平均) A: 10回以上 B: 2回以上10回未満 C: 2回未満	11回	14.3回	A	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2020	2021	2022	2023	2024
目標値	11	11	11	11	11
実績値	11.0	13.3	14.0	15.3	14.3

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
<b>A</b>	全体満足度においてA評価の基準を超える100%を達成しており、非常に質の高いサービスを提供していると判断でき、次年度以降も同様な結果が期待される。アンケート回収率は90%を超えており、利用者意見の収集に積極的に取り組んでいたと判断できる。研修の平均受講回数は14.3回とA評価の基準を超えており、積極的に職員の能力向上に取り組んでいると判断できる。町田市主催研修に参加するだけでなく、運営法人やクラブ内研修等を積極的に実施していることも評価できる。

【サービスの質に関する評価基準】 A: 良好である B: 要求水準達成 C: 良好ではない

【評価対象年度 2024年度】

6. 業務履行状況の確認

(1) 指定管理業務の履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	保護者・利用者への平等な取扱い	保護者・利用者への平等な取扱いの実施	保護者・利用者への平等な取扱いを「学童保育クラブ入会のしおり」及び「児童ケース記録」等で確認した。	適
	保護者への情報提供	お便りや広報誌の配布又はHP・メール配信等での情報発信	保護者へ適切に情報提供をしていることを「おたより」等で確認した。	適
施設の運営方針・管理	運営方針・指導計画・年間指導計画に基づく保育の実施	事業計画に基づく事業の実施	事業を適切に実施していることを「年間計画」及び「実施報告書」で確認した。	適
	市への報告書類の提出	例月、学期の報告書類の提出	「育成日誌」及び「育成記録」を、各期日までに適切に提出していたことを確認した。	適
	施設の点検・保全	業務仕様書に定める頻度での点検実施	適切に点検を実施していることを「職場巡視点検票」等で確認した。	適
情報公開・個人情報保護	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制の整備	個人情報保護体制が整備されていることを法人の「個人情報保護規程」等で確認した。	適
	書類保管	個人情報の適切な管理(施錠された書棚での保存等)	個人情報が記載された書類が、施設内の鍵付き書庫等で適切に保管されていることを目視で確認した。	適
	情報公開体制の整備	情報公開体制の整備	情報公開体制が整備されていることを「情報公開規程」で確認した。	適
要望対応	要望対応体制の整備	要望対応体制の構築	苦情対応の体制が構築されていることを法人の「苦情解決に関する規程」等で確認した。	適
	要望窓口の周知	意見・要望を受け付ける窓口の周知、意見箱の設置等	苦情受付窓口が掲示板等で周知され、施設内に意見箱が設置されていることを目視で確認した。	適
危機管理	緊急時・災害時に備えた体制の整備	緊急時・災害時対応体制の整備	緊急時・災害時対応手順が整備されていることを法人の「学童保育クラブにおける救急対応マニュアル」等で確認した。	適
	避難訓練の実施	火災、地震、防犯及び交通安全に関する訓練を年各2回以上実施	火災、地震、防犯、交通安全に関する訓練を年2回以上実施していたことを「事業報告書」で確認した。	適
	子どもの病気や事故に対する備え	病気や事故に対する対応手順の整備	病気や事故に対する対応手順が整備されていることを「学童保育クラブ感染症予防・対策マニュアル」等で確認した。	適
人的安定性	職員の適切な配置	業務仕様書に基づく配置	適切に職員が配置されていたことを「育成日誌」及び「シフト表」で確認した。	適
	職員研修の実施	年2回以上の職員研修の受講	年2回以上、職員研修を受講していたことを「研修記録」で確認した。	適
管理経費の縮減	計画的な執行	管理経費の適切な執行	関係経費の適切な執行に取り組んでいたことを「事業収支決算書」等で確認した。	適
	管理運営経費の縮減	管理運営経費の削減又は取組み	長期間使用しない家電等のコンセントを抜き、電気使用量を最小限にする等、管理運営経費の削減に取り組んでいたことを目視で確認した。	適
地域貢献	地元への貢献	地元での社会活動等への参加	地元団体と連携した行事等を実施していたことを「事業報告書」等で確認した。	適
	市民雇用	町田市民の雇用	市民雇用率が91.3%であることを「職員調書」で確認した。	適

## 【評価対象年度 2024年度】

### (2)業務実施体制の確認

大項目	小項目	要求水準	モニタリング結果	適否
モニタリング その他	会計・経理モニタリング	会計・経理実施状況チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年1月27日に同一法人が管理するすまいる学童保育クラブでモニタリングを実施し、全ての確認項目で「適」であることを確認した。	適
	労働条件モニタリング	労働条件チェックシートの全ての確認項目が「適」である。	2025年1月27日に同一法人が管理するすまいる学童保育クラブでモニタリングを実施し、労働条件通知書の項目で「不適」であったが、年度中に是正されたことを確認したため「適」とする。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	要求水準を満たしていることを、各種根拠資料、事業報告書、育成日誌、現地調査、ヒアリングにて確認した。

### 7. 財務・収支状況の確認

#### (1) 公の施設に係る収支

単位:千円

項目	2020		2021		2022		2023		2024		
	予算	決算									
収入	指定管理料	21,381	19,720	22,394	22,014	25,709	24,321	30,252	29,314	31,640	31,288
	特別育成料	239	218	191	284	291	297	319	130	135	123
	雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄附等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	21,620	19,938	22,585	22,298	26,000	24,618	30,571	29,444	31,775	31,411
支出	人件費	16,629	15,251	17,427	17,331	20,721	19,464	25,319	24,564	26,387	26,288
	管理費	610	580	597	463	621	385	578	511	523	422
	運営費	302	250	340	217	381	299	310	268	417	317
	精算する経費	1,212	370	1,200	494	1,200	604	1,200	533	1,500	642
	間接経費	2,867	2,403	3,021	2,751	3,077	2,956	3,164	3,104	2,948	2,715
	計	21,620	18,854	22,585	21,256	26,000	23,708	30,571	28,980	31,775	30,384
総計(収入-支出)	0	1,084	0	1,042	0	910	0	464	0	1,027	

#### (2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2020	2021	2022	2023	2024
経常利益率	2.2	3.0	2.8	2.4	4.4
負債比率	85.6	67.3	66.1	67.3	60.6

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
<b>適</b>	決算書により、指定管理業務に関わる収支については黒字となっており、安定した運営を行っていることが確認できた。 また、法人の経常利益率がマイナスになっておらず、負債比率が100%を下回っていることから、今後も適切な施設運営が可能であると考えます。